

鳥獣被害対策のための鳥類卵の孵化抑止方法

【特徴】

簡便な方法でありながら高い繁殖抑止効果を持ち、かつ周囲の環境にも悪影響を及ぼさない鳥類卵の孵化抑止方法。

【活用が見込まれる分野】

農林水産物の鳥獣類被害対策

実用化実績 : 有
現 状 : 実用化段階

【特許】

鳥類卵の孵化抑止方法及びその装置(特許第4852727号)

権利状態 : 単独
実施許諾実績 : 2件
実施許諾 : 可
権利譲渡 : 不可

【内 容】

○一般的な方法

疑似卵による入れ替え方法や無線操縦ヘリコプターによる界面活性剤散布方法等では、労力を要し、周囲環境を汚染する恐れがある。

○本手法(特許)

ペレット状のドライアイス、低所より巢内に散布することで、鳥類卵を冷却し発育停止することが可能な装置。



(ペレット状のドライアイスをかいたカワウ卵)

○ドライアイス等を用いた発生停止実験の結果

処理	巢数	雛が孵化した巢数	雛数
擬卵	85	6	13
ドライアイス	26	0	0
擬卵・ドライアイス ¹	46	2	5
無処理 ²	2	1	2
計	159	9	20

○効果

本技術により、周囲環境に悪影響を及ぼさず、安全かつ効率的な鳥類卵の孵化抑止を実現。

○注意点等

鳥獣保護法などによる許認可が必要な場合もあるので関係機関に確認の上実施すること。



(鳥類卵の孵化抑止装置概要)